

亀山法男作曲・ピアノ・うた  
亀山勝子ソプラノ

# ザ・クラシック笑 SHOW

「あらすじ!」はない。「あら!すてき!!」でいい。そこにあるのは一瞬にして消え失せてしまう音のあやとり、言葉のあやとり。素材はあのクラシック! 悪戦苦闘の教養と娯楽のよりあわせ。寄席もどきのマクラを音でかまし、笑いの波紋によって演目はその場で決めたい。

消えた音のあとに残る二人、それがドラマと言えようか……。

何が起こるか分からない。ハラハラ……

ドキドキ……ギリギリ……スレスレの世界。痛快・爆笑そして涙ありの大パフォーマンスと小粋なエスプリは、見もの聴きものいっぱい!!

今回は、大好評の「子どもの詩による歌」もプログラムに添えて贈る"特別編"。ほのぼのとアットホームなステージを召し上げられ。



## 亀山法男

作曲・ピアノ・うた

長野市出身。国立音楽大学教育音楽科卒。子どもの詩に取り組んで、歌曲、合唱曲など多くの作品を書き続け、次々に新作発表会をもつ。愛妻勝子氏とのコンビで始めたコンサート"ザ・クラシック笑(ショー)&

亀さんのおくりもの"は、各方面から注目を浴びている。また、ユニークで熱心な合唱指導、音楽指導には定評がある。スクールコンサートにも意欲的な活動をし、海外の日本人学校に何度も招かれている。

出版作品、レコード多数。代表作には、子どもの詩による歌曲集「ねこ」、「色のついた雨」、ピアノ曲集「さあ、おとぎの国へ」、女声合唱曲集「Ave Maria」、合唱組曲「心のふるさと」、「ドレミって不思議ですね」、「Zoo! Zoo! Zoo!」、おとぎオペレッタ「白雪姫」、人形ミュージカル「ヘンデルとグレーテル」、民話オペラ「犬石物語」等があり、'88年には三木露風賞入選。'88から'97年までNHK高校講座音楽ラジオ講師担当、毎週土曜日朝夜20分のトークは絶賛を浴びた。渋谷小劇場ジャン・ジャンを拠点に黒柳徹子氏、永六輔氏、伊奈かっぺい氏らとのステージ共演も数多い。



## 亀山勝子

ソプラノ

満州生まれ。熊本出身。国立音楽大学声楽科首席卒業。声楽科専攻及びオペラ研究室修了。同大学では30年間、声楽講師として後進の指導を努め勇退。

第37回読売新聞新人演奏会出演。'75年ウィーンに留学。オペラでは「魔笛」、「フィガロの結婚」、「コシファン・トゥッテ」、「海の子守歌」、「検察官」、「ロバンとマリオン」、「婚約手形」、「往きと復り」、「ボッカチオ」、「白雪姫」等の主役を演じ、一方、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「戴冠ミサ」、「レクイエム」、ベートーヴェン「C-durミサ」、「壮厳ミサ」。「第九」、ブラームス「ドイツレクイエム」、フォーレ「レクイエム」等のソリストとして活躍。'82年イスラエル・フェスティバルには日本代表として参加。エルサレム、テレアビブ両歌劇場にて好評を得る。'88年から'97年までNHK高校講座音楽のソプラノとしてレギュラー出演。

童謡からクラシックまで七色の声を使い分け、その明るくチャーミングな歌声で現在幅広い分野で活躍中。

